令和５年度学校だより

# 善誘館 No.9

甲府市立善誘館小学校　校長室

校　訓　「善行・勤勉・体育」
学校教育目標
○　思いやる心をもつ子
○　よく考え工夫する子
○　元気でたくましい子

２０２３．１２．１５

## 2学期もありがとうございました!(^^)!(^_^)v

早いもので，子供たちの日焼けした顔を嬉しく迎えた８月末から時が経ち，一年の締めくくりである師走となりました。お子様，御家族の皆様にとって，２０２３年はどのような一年でしたでしょうか。

この時期に私がいつも気になるのは，その一年の「流行語大賞」と「今年の漢字」です。担任をさせていただいていた際には，子供たちと「流行語大賞の候補には，こんな言葉があるらしいよ。どれが大賞になるかな。」「今年の漢字一字は何になると思う？」と予測をしたものです。２００３年に阪神タイガースが優勝した年は「虎」でしたので，日本一になった今年も「虎」かもしれません。子供たちに聞いてみると，「今年も「戦」。」ロシアとウクライナの戦争が終わらず，イスラエルとハマスの戦争があったから，というのがその理由でした。（この便りを発行する時にはもう決まっていると思います）皆さんは，御自身の一年を漢字一字にするとしたら，何を選ばれますでしょうか。皆さんがこの一年を振り返り，笑顔で年末を迎えられることをお祈りしております。（ちなみに今年の漢字一文字は「**税**」でした）

１２月は“リフレクション“（振り返り）の時期でもありますが，私がこの一年ニュースを見たり様々な経験をさせていただいたりする中で，心に引っかかったのは「言葉」の中でもその使い方についてです。「SNSでの誹謗中傷」もその一つで，７月に著名な方が自ら命を絶つという痛ましいニュースがありました。自分や他者のアイデンティティについて「その人らしく生きることの大切さ」を熱心に伝えていらっしゃった方でしたので，大変残念だったとともに，やはり人を追い詰める言葉の使い方に，大変危機感を持ちました。

「言葉の使い方」について海外で興味深い検証実験がなされていましたので，紹介いたします。

無作為にグループを２つに分け，テストをしました。どちらのチームも結果に差はなかったのですが片方のチームには「よくできていました。」と，もう片方のチームには「できていませんでした。」と伝えます。次に２回目のテストをし，成績を比べると，明らかに「よくできていました。」と言われたチームの方が成績が良かったというのです。（この実験は他のグループでやっても，やはり同じような結果が出たそうです）「言葉というのはやはり力がある！」と考えさせられるお話でした。

言葉は使い方次第で人を勇気づけ，モチベーションを高めたり，人と人の絆を深めたりします。これからも，「言葉の力」を信じ，子供たち同様に「ふわふわ言葉」を大切にしていきたいと思いました。

## 子どもの不思議？に答える大人の姿勢　（クリスマスにお勧めする一冊）

早いもので クリスマスの時期が今年もやってきました。よく子供たちに「先生！クリスマスの本といえば何ですか･･･」と聞かれると即答できないくらい，クリスマスに関する素晴らしい本があります。そんな中でも，私がお勧めする是非手に取って読んでもらいたい一冊は偕成社の 『サンタクロースっているんでしょうか？』です。

この本は実際にあったお話で，１８９７年ニューヨークに住む８歳の少女バージニアが投げかけた「サンタクロースって本当にいるの？」という質問に，ニ ューヨーク・サン新聞の記者が答えた社説を翻訳したものです。バージニアの質問に真摯に暖かく答えたメッセージは，サンタクロースについて書かれた名文の一つになりました。

〝Yes, VIRGINIA, there is a Santa Claus〟（そうです，バージニア，サンタクロースはいるのです）という題名で書かれたこの社説は１００年以上経った今でも，クリスマスが近づくと世界中のメディアで取り上げられています。子供の素朴な疑問に真摯に答えた大人の姿勢に頭が下がる思いですし，この本を読むといつも自分もそうありたいと改めて思わせてもらいます。

日本では１９７７年に出版されて以来ロングセラーとなっていて，過去には『大人に贈りたい絵本』第４位に選ばれています。執筆者のフランシス・ Ｐ・チャーチは，同社の新聞記者として活躍し，アメリカ合衆国大統領ユリシーズ・Ｓ・グラントや科学者ジョン・エリクソンの

伝記を書いたことでも知られています。挿絵の東逸子さんは，佐賀県生まれ。東京芸術大学工芸科を卒業後，『詩とメルヘン』（サンリオ）など雑誌・出版物で活躍しています。たつみや章さんの『月神の統べる森で』講談社シリーズの挿絵なども描かれています。

こんな時代だからこそ，世界中の子供たちがこれからもずっとサンタクロースがいると信じられる世の中であって欲しいと思います。この本『サンタクロースっているんでしょうか？』は学校の図書館にもありますので，是非，お子さんと一緒に手にとって読んでみませんか。

## ：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：学校の様子より：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：

### ♡「本が好き」「読書が大好き」読書週間　１１月６日～１１月２４日♡

子供たちの活字離れがいろいろなところで指摘されています。読書は子供たちの情操や創造力を育てる上でとても有効です。学校では読書好きな子供を育てるため，様々な取組を進めてきています。その一環として１１月６日から２４日の３週間，読書週間として位置づけて様々な活動を行ってきました。昨年度に引き続き，全校児童と教職員による本の紹介カードの作成，職員による朝の読み聞かせを行い，どの子も読書に向き合えるように活動を仕組んできました。期間中の本の貸出冊数は「１０３７冊」，（一日平均８０冊）となりました。これからも，その学年にふさわしい本をたくさん読んでほしいと思います。

### ○『クリスマスリースを作ろう』（１学年親子活動）

１学年親子活動「クリスマスリースを作ろう」が開催されました。

１年生が１学期から２学期の始めにかけて育てていた「アサガオ」のツルを使い，丸く編んでおいたリースに，校外学習で採取してきた「松ぼっくり」や「どんぐり」「落ち葉」などボンドを使って貼り付けました。また，役員さんが用意してくれた材料や，お家から持ってきた飾り付けの材料を使い，かわいらしく作りました。親子で楽しそうにリースを造る姿がとても微笑ましかったです。クリスマスに飾るのが楽しみですね。

役員の皆様方には親子活動の材料の準備や進行をしていただき，ありがとうございました。

### ○『ホットケーキミックスでふわふわパンケーキ作り』（６学年親子活動）

１１月２４日（金）に６学年親子活動「ホットケーキミックスでふわふわパンケーキ作り」が開催されました。

家庭科室を使って親子でホットケーキミックスを使い，パンケーキの生地を作り型に入れて，蒸し器で蒸して空き瓶をつかって蒸して完成となりました。残念ながら感染症拡大防止のため作ったパンケーキを親子で試食することはできませんでしたが，美味しいパンケーキができたようです(^_^)小学校最後の親子活動も思い出に残る楽しい行事になったようです。役員の皆様，計画・準備・進行等々ありがとうございました。

### ☆『ドリーム ツアー』（たてわり班活動）

１１月２９日（水）ｾﾞﾝｺｳﾀｲﾑから４校時にかけて「たてわり活動（ﾄﾞﾘｰﾑﾂｱｰ）」が行われました。このドリームツアーは２学期最大の児童会行事で，毎年，子供たちがとても楽しみにしています。

どのたてわり班も今までよりも，もっと良いコーナーをつくろうとみんなで考え，協力して作り上げ，本番の成功に向けても，更に協力して大切な学習ができました。陰で支えてくれた，児童会の執行部の皆さん。中心となってがんばってくれた，たてわりリーダーのみなさん。今日まで御苦労様でした。「ドリームツアー」は大成功でした!(^^)!

### 12月のおしらせ

【冬休み中の連絡先】（交通事故や大きな病気（感染症含）やけがなどがあった場合は速やかに御連絡をお願いします）

学校は 12／27（水）から１／８（月）までの 13 日間冬季休業日（冬休み）となります。

○12／27（水），１／４（木），５（金）は善誘館小学校（２３３－４８０９）へ

○土日祝日，学校閉庁日（12／28（水）～1／3（水））には学校内に教職員が不在となり，原則として全ての業務を行いません。

☆緊急時の連絡は，学校携帯（070－1278－3883）へお願い致します。